

糸時計と黒の女王

和上京鈴

【A】

覗かれたら奪われる
心の隙間 愛しい過去
嗤えぬ人形 音を立て
まだ生きようともがいている

【B】

誰（た）が為に何を想う？
愚者を煉獄へ墮として
赤い林檎も 金の首輪も
私の世界には要らない

【S】

絡まった糸は亡国の影を纏い
すべて焼き尽くす光に成ろう
時計の針 一つ盗んだら
最初から喜劇の繰り返し
横たわる少女ピエロ
其の夢を永久（とわ）に魅せて

【A】

焦がれた朝 いつの日か
森に閉ざして闇の輪舞（ロンド）
消し去ったはずの傷跡が
透かした糸の先に映る

【B】

満ちた月 砂時計は
罪を数えて抱きしめる
静寂さえも 嘘の懺悔も
私の世界ごと消え去れ

【S】

切り取った夢は漆黒の影を纏い
涙流して彷徨っているの？
祈り続く夜を踏みつけて
絶望の華を彩ったら
少しだけ あと少しの
暴虐で救えるのに

【B】

朽ち果てた世界の中
黒の女王独り踊る
赤い林檎も 金の首輪も
私の世界には要らない

【S】

絡まった糸は亡国の影を纏い
すべて焼き尽くす光に成ろう
時計の針 一つ盗んだら
最初から悲劇の繰り返し
嗤い出す少女ピエロ
此の夢を終わらせてよ